

職場からつくる人権尊重社会

企業は、自らの事業活動を通して利益を得るだけでなく、社会に対して雇用の創出や税収増といったプラスの効果をもたらすことができます。一方、ひとたび不祥事を発生させてしまうと、それまで積み上げてきた企業自体の信用を落とすだけでなく、人々の生活や安心安全、経済・社会秩序に対して悪影響を及ぼす可能性も持っています。

ICTの発展や経済活動のグローバル化の進む現在では、企業活動において、社会的公正や人権・環境等への配慮を組み込み、ステークホルダー（利害関係者）に対して責任ある行動を果たしていくことが一層強く求められるようになってきました。しかし、先進的な人権対応を積極的に推進している企業がある一方で、大手芸能事務所における性加害の問題に端を発し、それを黙認してきた関連企業の体質が問題視されるなど、これまで日本の企業の人権対応は、総体的に遅れてきたと言わざるを得ません。「人権ベ

ンチマーク」など、投資家による人権の評価や格付けが本格化するなかで、人権対応は企業価値を高める重要な指標になっている。

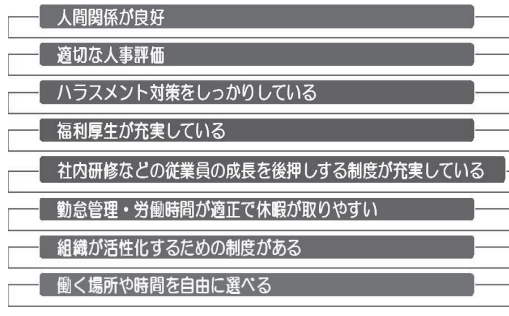


図1 仕事をする上で最も重視するのは何か

一方、社内にも目を向けると、仕事をすることで最も重視するのは、給与面や待遇面よりも「働きやすさ」を選ぶ割合が増えてきていることがさまざまな調査結果から明らかになってきました。（図1）その背景には、20〜30代の若い世代が求めるライフスタイルの変化があります。社会人の多くがワークライフバランスを重視している今日、「働きやすさ」は有用な人材確保の面からも、経営上の重要な戦略の一つであると言えるでしょう。

職場におけるハラスメントは、その言動によって相手に不快感や不利益を与え、尊厳を傷つける重大な人権侵害です。職場の雰囲気やメンバーの関係が悪化し、人的資源の喪失を招く恐れがあるだけでなく、企業としての法的な責任も問われかねません。当事者のみ問題として放置しておくことは、もはや許されない状況になっているのです。今こそ、組織ぐるみの早急な対応が望まれます。全ての従業員に対する人権尊重の配慮が行き届いた職場では、生産性の向上や人材の確保、企業の社会的評価の高まりにつながります。いつも『目線は従業員に、視線の先は社会に』向けられていることが、どの企業にとっても肝要なのではないでしょうか。

ご案内

第42回「小松島市人権教育・啓発研修大会」のご案内

【日時】2月5日(月) 午後1時50分〜4時30分 (受付開始午後1時20分) 【場所】サウンドハウスホール 他

市教育委員会生涯学習課 人権教育推進室(新教育庁舎2階) 32・3814 FAX 33・1230 jinkenkyouiku@city.komatsushima.jp

市民文芸 花みずき歌壇 (410) 山崎泰子・選

わが剥きし柿を夫が軒に吊るこの長閑さも覚えておかわ

松島町 六田 靖子

七秒の孫の動画を今日も見ると見る繰り返して見る

横須町 天王谷 一

自力にて殻ぬぎ終えし沢蟹の脚やわらかくたまたま

小松島町 萬宮千鶴子

あの時はよかつたなあ母の居て姉いて妹いて一斗の餅搗き

立江町 湯浅かや子

ばあちゃんには五徳の上のへぎ餅を突いて突いて「美味しくなあれ」

松島町 萬野 行子

浮き台に甲羅干しする親子亀今年も増えて目を楽します

田浦町 西 教明

人も星も生まれ変わって悠久の一瞬一瞬光り輝け

中田町 湯浅 百世

白椿手折りて亡夫に供えれば笑顔の写真は満足そうなり

赤石町 田原トシ子

面会はデートの時間病室の妻の目線に気持ちは晴れる

中田町 多田 健児

わが庭はいま山茶花に燃えており咲けるだけ咲き散るだけ散りて

中田町 松並 敦子